

# 県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

TEL 027 - 234 - 2376

7月号 (No.91)

2020年7月27日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://gunma-ccu.jp/>

Eメール: [post@gunma-ccu.jp](mailto:post@gunma-ccu.jp)

## 群馬県生協連

### 第61回通常総会を開催しました

6月18日(木)

群馬県生協連は、第61回通常総会を6月18日(木)、群馬県青少年会館大会議室で開催しました。今総会は、新型コロナウイルス感染予防のため、書面議決を中心とし、最小限の出席者で開催しました。代議員総数54名のところ、本人出



県連第61回通常総会のようす

席5名、書面議決48名の参加で以下の議案の審議を行ない、全議案を可決し、終了しました。

開会前に出席代議員の立ち合いのもと、書面議決の開票が行われました。事前に書面議決を推奨してきたことにより、今総会は通常の8割減の出席者となりました。

総会は小澤厚副会長理事の開会宣言により定刻に始められ、総会の成立が報告されたあと、議長としてコープぐんま橋爪寛子代議員、北毛保健生協早水孝元代議員の2名を選出しました。

その後は議長の進行により進められ、議事録署名人にはるな生協野村孝太郎代議員、こくみん共済coop群馬推進本部田村裕介代議員の2名が任命され、書記に県連針谷勉専務補佐が任命されました。

議案討議に先立って中村隆夫会長理事から今回出席者をしばって開催した経過説明のあと、「2019年度は健康チャレンジで生協間の協同した取り組みが進められた。消費者のくらしや中小事業者の経営が苦しい中、SDGsの目的に沿った活動を進めていきたい」とあいさつがありました。

議案提案は第1号議案から第6号議案まで一括して斎藤剛専務理事が行い、監査報告が監事会を代表して松本勉枝監事から行われました。

その後質疑が行われ、書面議決を含めて以下の通り全議案が賛成多数により可決されました。

第1号議案	2019年度事業報告及び決算関係書類承認の件	賛成50、反対1
第2号議案	2020年度事業計画及び予算決定の件	賛成50、反対1
第3号議案	群馬県生協連役員選任規約の一部改定の件	賛成50、保留1
第4号議案	役員選任の件	賛成50、保留1
第5号議案	役員報酬総額承認の件	賛成50、保留1
第6号議案	議案決議効力発生の件	賛成50、保留1



あいさつする  
中村会長理事

(\*議長2名は採決に加わっていません)

総会では、役員選任が行われました。なお、理事会は定足数不足のため、理事に選出された中村前会長から代表理事、会長理事、副会長理事、専務理事、常務理事等の提案が行われ、理事全員の賛成と監事全員の異議なしが総会后に確認され、以下の役員体制が議決されました。

《理事》		木樽千恵子	理 事	(コープぐんま)	【新任】
中村 隆夫	代表理事 会長理事	(コープぐんま)	小暮 孝	理 事	(群馬県学校生協)
吉田 登	副会長理事	(こくみん共済 coop 群馬推進本部)	佐藤 智之	理 事	(群馬大学生協)
関沼 光好	副会長理事	(はるな生協)	磯貝 靖雄	理 事	(高崎経済大学生協)
田中利恵子	副会長理事	(県連女性協会会長)	原澤 裕	理 事	(利根保健生協)
針谷 勉	代表理事 専務理事	(県生協連)	長谷川敦子	理 事	(群馬中央医療生協)
小澤 厚	常務理事	(北毛保健生協)	《監事》		
高橋 勝	常務理事	(群馬県庁生協)	中台 円	監 事	(パルシステム群馬)
中嶋 義幸	常務理事	(パルシステム群馬)	山端佐代子	監 事	(コープぐんま)
反町 幸代	理 事	(パルシステム群馬)	石沢奈緒子	監 事	(群馬中央医療生協)
菊川麻里子	理 事	(生活クラブ生協)	《顧問》		
大貫 晴雄	理 事	(コープぐんま)	八田 直樹	(前会長理事)	

**県連女性協議会第27回定期総会が開催されました**  
**全議案を書面で議決しました** 6月16日(火)



新旧運営委員と中村県連会長

群馬県生協連女性協議会（女屋美由紀会長・開催時）は6月16日（火）付にて、第27回定期総会を開催しました。新型コロナウイルス感染防止のため、今回は代議員出席による会議は行わず、すべて書面で議案の確認を行いました。

書面議決確認のため、当初予定していた生涯学習センターに新旧の運営委員が集まり、総会の成立と全議案の賛成多数による可決を確認しました。

新旧運営委員が集まった席の冒頭、女屋会長から「すべて書面で総会を開催するのは異例の事態で残念、県連女性協の活動はまだまだ認知されていない、女性の進出は遅れているのがわかった、会員生協に男女共同参画アンケートのご協力をいただき、2会員生協と懇談する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になった、ぜひ新体制で活動を進めていってほしい」とあいさつがありました。

つづいて群馬県生協連中村隆夫会長理事より「パートなど非正規職員の女性が首を切られるなどの状況がある、男女共同参画社会の実現のためには男性の意識を変えていくことが大切。全国の進んだ事例を参考に進めていきたい」とあいさつがありました。

その後、新旧運営委員による開票結果確認が行われ、全議案が賛成多数により採択されたことを確認しました。

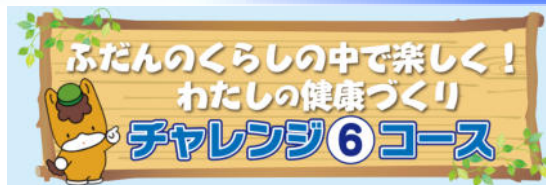
総会で確認された運営委員は7名でしたが、その後会員生協から1名の推薦があり、7月16日に開催された県連理事会において女性協議会運営委員会メンバーとして承認され、7会員生協8名の運営委員会として活動をスタートしました。

- 2020～2021 年度群馬県生協連女性協議会運営委員（\*は新任）
- 会 長 \* 田中 利恵子 (県連副会長理事、コープぐんま理事)
  - 副会長 藤原 京子 (利根保健生協・理事)
  - 運営委員\* 木樽 千恵子 (コープぐんま・理事)
  - 〃 \* 中島 瑞恵 (生活クラブ生協・理事)
  - 〃 \* 富永 みどり (パルシステム群馬・理事)
  - 〃 \* 下田 晶子 (北毛保健生協・理事)
  - 〃 \* 中野 真由里 (群馬中央医療生協・理事)
  - 〃 吉田 寿美子 (はるな生協・理事)

## ぐんままるごと健康チャレンジ2020準備を進めています

ぐんままるごと健康チャレンジ2020は、5月21日付で書面による第1回実行委員会を開催し、2020年の取り組みをスタートしました。2回目となる今年は、生活クラブ生協、よつ葉生協が新たに実行委員会に加わり、右の通り役員体制が確認されました。

新型コロナウイルスの状況のもとでも、県民に広く勧められる取り組みとして、パンフレットの作成や後援依頼などの準備が進められています。



実行委員長 大野 清 (はるな生協)  
副実行委員長 齋藤久美子 (コープぐんま)  
事務局 長 針谷 勉 (群馬県生協連)

## 群馬県消費者団体連絡会／前橋市消費者団体連絡会 書面により年次総会決議案を全員の賛成で採択しました

群馬県消費者団体連絡会、前橋市消費者団体連絡会（ともに八田直樹会長）は、本年の年次総会を、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応として書面により開催し、全ての議案が議決され、新年度体制を確認しました

2020年度群馬県消費者団体連絡会総会は5月26日（火）付けで確認され、18団体25名が書面議決に参加し、全ての議案が全員の賛成で承認されました。

総会で選出された主な役員は以下の通り

会 長 八田 直樹 (県生協連顧問)  
副 会 長 馬場美津子 (県退職女性教職員の会)  
〃 宮田よし子 (前橋市消団連)  
〃 木樽千恵子 (コープぐんま)  
事務局 長 齋藤 剛 (県生協連事務局)

第45回前橋市消費者団体連絡会は、5月18日（月）付で確認され、8団体11名と個人2名が書面議決に参加し、全ての議案が全員の賛成で承認されました。

総会で選出された主な役員は以下の通り

会 長 八田直樹 (県生協連顧問)  
副 会 長 宮田よし子 (個人)  
事務局 長 齋藤 剛 (県生協連事務局)

## 第14回ぐんま食の安全 安心県民ネットワーク総会 全議案が書面により採択されました 6月30日(火)付

ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク総会（中村隆夫会長）は、本年の年次総会を、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応として書面により開催し、6月30日付で全ての議案が議決され、活動のまとめ、新年度方針と新年度体制を全会一致で確認しました。

2019年度事業の特徴の一つ目は、産学官連携による食の安全理解促進事業の輪が広がりました。前年取り組みのあった明和学園短期大学、高崎健康福祉大学に加えて、東洋大学の学生を対象とした事業に県民ネットワークとして関わりが持てました。

二つ目は、県民ネットワークとしての主体事業に取り組んだことです。公開県民講座～プロが勧める かしこい栄養の摂り方～を開催し、群馬県済生会前橋病院栄養科係長宮崎純一氏の講演「健康にいいって本当？フードファディズムを考える」を企画しました。また、群馬県との協働事業として実施した第20回食の現場探求隊は、県民ネットワークが事務局を担いました。

2020年度は、従来の方針を堅持しながらも、新型コロナウイルスの動向を見極め、「新しい生活様式」に配慮した必要な対策をとりながら、諸事業を進めていく方針です。

総会で選出された主な役員は以下の通り

会 長 中村 隆夫 (県生協連会長理事)  
副 会 長 石井 大樹 ((株)ベイシア)  
事務局 長 針谷 勉 (県生協連専務理事)

# 6月18日(木) J Aグループ群馬、群馬県森林組合連合会と『協同組合間相互連携協力の推進協定書』を締結しました

J Aグループ群馬（大澤憲一会長）、群馬県森林組合連合会（八木原勇治会長）と群馬県生活協同組合連合会（中村隆夫会長）は、6月18日（木）に前橋市の群馬JAビルにおいて『協同組合間相互連携協力の推進に係る協定書』締結式を行い、締結の後記者会見を開きました。

協定を締結した3組織は1995（平成7）年9月より、県内の協同組合の連携交流組織として『フートピア21』を設立し、相互理解の促進をはかりながら、見学会や学習会、情報交換などを継続して取り組んできました。

さらにこの間、協同組合の思想と実践がユネスコの「無形文化遺産」に登録されたこと、SDGsを実現するための重要なパートナーとして協同組合が位置付けられていることなどの背景から、県内の協同組合間の連携をよりいっそう進めていきたいとの機運が高まり、2019年11月より、3組織による協定締結に向けての準備を進めてきました。

協定は、これまでの連携交流の到達点に立って、協同組合間連携をさらに進め、地域がかかえる課題の解決やSDGs実現をめざし、新しい取り組みを進めていくことを確認するものです。

協定締結式はJA群馬中央会高橋克弥参事の司会で進められ、JAグループ群馬大澤会長から、「協定の締結は、協同組合の理解促進、SDGsの推進、安心して暮らせる地域社会、自然災害への対応、農林水産業の活性化などを目的とした大きなとりくみとなる」とあいさつがありました。続いて県生協連中村会長理事から「3つの組織の協同で相乗効果が生まれることを期待している、コロナで苦しんでいる人に貢献できるよう取り組んでいきたい」、県森林組合連合会八木原会長から「地域の森林を守ることで地球環境や県民生活に貢献できる、JAグループや生協との連携でSDGs17の目標に向けたとりくみをいっそう発展させたい」と抱負が語られました。

その後JA群馬中央会藤井啓太郎専務理事より協定書の説明が行われ、3会長が署名をして協定書を交換しました。協定書締結のあと、記念写真撮影と記者会見が行われました。



3組織会長と協定書

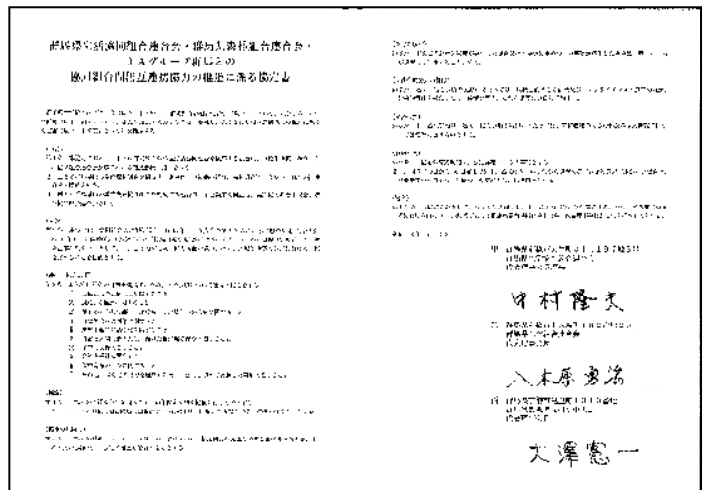


JA 藤井専務

た。



協定書締結のようす



協定書（詳しくは、群馬県生協連ホームページをご参照ください）